

【レジメン】

- day 1 ② ドセタキセル 60~75mg/m²
 day 1 ④ ハーセプチン 8mg/kg (初回導入時)
 ハーセプチン 6mg/kg (2回目以降)
 day 2 ③ ジーラスタ皮下注3.6mg
 day 2~21 休薬
 上記を3週毎に繰り返す。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	<input type="checkbox"/> ① デキサート8mg+ グラニセトロンバッグ1mg/50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ② ドセタキセル () mg+ 生食500mL	点滴	治療薬です。	120分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ④ ハーセプチン () mg+ 生食250mL	点滴	治療薬です。 ※HERの投与速度は下記参照	90・30分
	<input type="checkbox"/> ⑤ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day2 (/)	<input type="checkbox"/> ① デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	朝食後
	<input type="checkbox"/> ② デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	夕食後
	<input type="checkbox"/> ③ ジーラスタ皮下注3.6mg (冷所保存)	皮下	好中球減少に伴う発熱を予防します。 ※化学療法終了から24時間以降。	
day3 (/)	<input type="checkbox"/> ① デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	朝食後
	<input type="checkbox"/> ② デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	夕食後

※ハーセプチンの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

【化学療法施行前に処方する薬剤】

- ・デカドロン錠0.5mg 16錠/2x朝・夕食後 2日

【化学療法に関わる指示】

- 嘔気時：メトクロプラミド () A 静注およびデキサート () mg 静注 ※配合変化のため混合しない
 上記効果が不十分な場合
オランザピンOD錠5mg 1錠内服 (1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可
- 吃逆時：メトクロプラミド1A静注
コントミン10mg 1A 筋注
 ※メトクロプラミド (注射・錠剤) とH2ブロッカー (注射) またはPPI (注射) は原則併用禁忌です。